

様式第4の口（第4条、第5条関係）

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		(1)									
建築物の構造 (2)	階数		建築面積	m <sup>2</sup>		延べ面積	m <sup>2</sup>				
	壁	延焼の恐れのある外壁		柱			床				
		その他の壁		はり			屋根又は上階の床				
	窓		出入口		階段		軒高	階高	m		
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造 (3)		階数		建築面積	m <sup>2</sup>		延べ面積	m <sup>2</sup>			
		建築物の構造概要									
架台の構造		(4)									
採光、照明設備		(5)									
換気、排出の設備		(6)									
電気設備		(7)									
避雷設備		(8)									
通風、冷房装置等の設備		(9)									
消火設備		(10)									
警報設備		(11)									
工事請負者住所氏名		(12)									
										電話	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

屋内貯蔵所構造設備明細書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1) 事業の概要	事業の概要は、貯蔵所が設置されている事業所の事業内容、貯蔵目的等を記入します。
(2) 建築物の構造	建築物全体が屋内貯蔵所の場合は、各項目に建物構造を記入します。建築物の一部に設置する場合は、各項目とも屋内貯蔵所の用に供する部分の構造等を記入します。
(3) 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造	建築物の一部に設置する場合は、各項目とも建物全体についての建物構造等を記入します。 ※建築物全体が屋内貯蔵所である場合は、記入しません。
(4) 架台の構造	架台の材質、設置台数を記入し、自動式ラックの場合はその旨を併記します。
(5) 採光, 照明設備	採光及び照明設備の種類等の概要を記入します。 (例) 窓, 白熱電灯 (d 2 G 4) 2 灯
(6) 換気, 排出の設備	換気又は排出の別, 材質, 個数, 防爆仕様, 引火防止網の有無等を記入します。
(7) 電気設備	照明設備以外の設備について, その概要を記入します。 (例) 点滅器 (防水型) を屋外に設置し, 屋内配線は金属管工事とする。
(8) 避雷設備	避雷設備の概要を記入します。 (例) J I S A 4 2 0 1 による突針 3 本, 独立架空地線
(9) 通風, 冷房装置等の設備	通風, 冷房装置等の設備について, その概要を記入します。 (例) 冷房装置クーラー (防爆型)
(10) 消火設備	危政令別表第 5 に規定する区分, 設備名, 設置数等を記入します。 (例) 第 3 種二酸化炭素消火設備 (全域), 第 5 種消火器設備 2 本
(11) 警報設備	危険物規則第 37 条に規定する警報設備について記入します。 (例) 加入電話, 自動火災報知設備
(12) 工事請負者住所氏名	工事請負者の住所, 氏名 (法人は主たる事業所の所在地, 法人名, 工事責任者名) 及び連絡先の電話番号を記入します。

※該当がない項目は、斜線又は「なし」等を記入し、空欄が無いようにしてください。